

お手入れのしかた(ダクト用換気扇)

※形名により図が一部異なります。

お手入れの前に あまりよごれないうちに(3ヵ月毎)お手入れしてください。

- 電源スイッチを「切」にしてください。



- ゴム手袋をご使用ください。



- 台所用中性洗剤をご使用ください。また化学ぞうきんやスプレー式クリーナー、シンナー、ベンジン、灯油、ベンゾール、アルカリ性の合成洗剤は使用しないでください。(変質、変色の原因となります。)

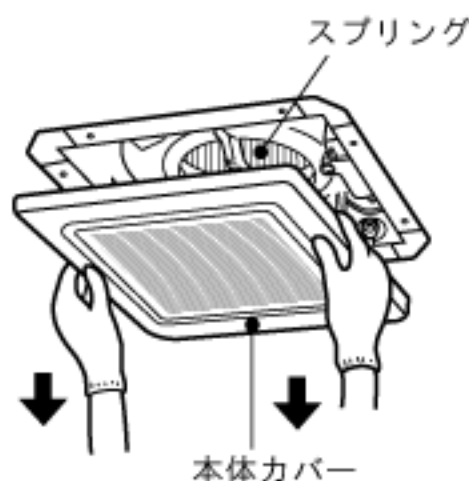


- タワシなど、固いものを使用しないでください。(きずがつきます)

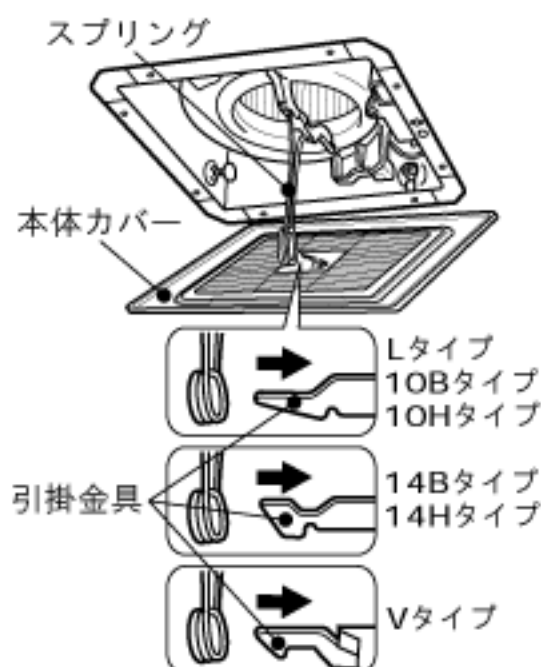


本体カバーのはずしかた

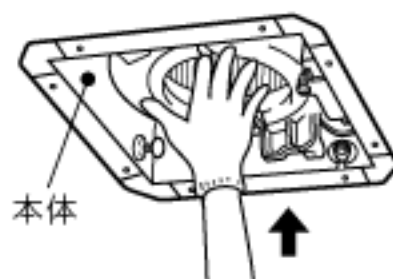
- 1 本体カバーが止まる位置までゆっくりと真下へ引きおろし、スプリングを固定します。



- 2 本体カバーを横にずらし、本体カバーの引掛金具をスプリングからはずします。



- 3 お手入れのとき変形させないために、スプリングはいったん本体内に押し込んでおいてください。



本体カバーのお手入れ

本体カバーは台所用中性洗剤溶液に浸し、よくしぼった布でふきとります。洗剤が残らないよう十分ふきとってください。

(格子部はやわらかいスポンジを利用して汚れを落としてください)

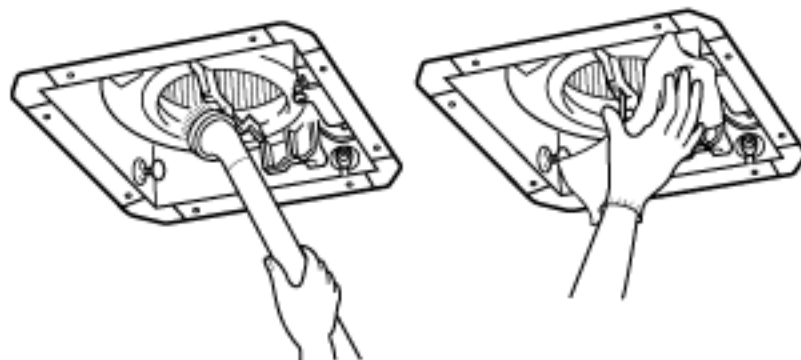
台所用中性洗剤を使用する。



本体のお手入れ

ほこりを掃除機で吸い取ります。

台所用中性洗剤をつけた布で汚れを拭きとったあと、からぶきします。



お願い

- 本体カバーや本体のお手入れのとき、取付用の引掛金具やスプリングを变形させないように注意してください。
- スプリングに手をはさまないようにご注意ください。

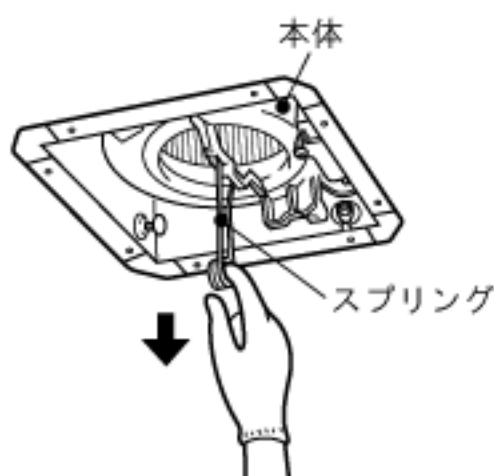


- お手入れのときは、取付ボルト（本体仮止用）は取りはずさないでください。（鋼板タイプのみ）
- 本体カバーを軽く引っ張って、はずれないか確認し、はずれる場合はやり直してください。取付が不完全ですと落下する恐れがあります。

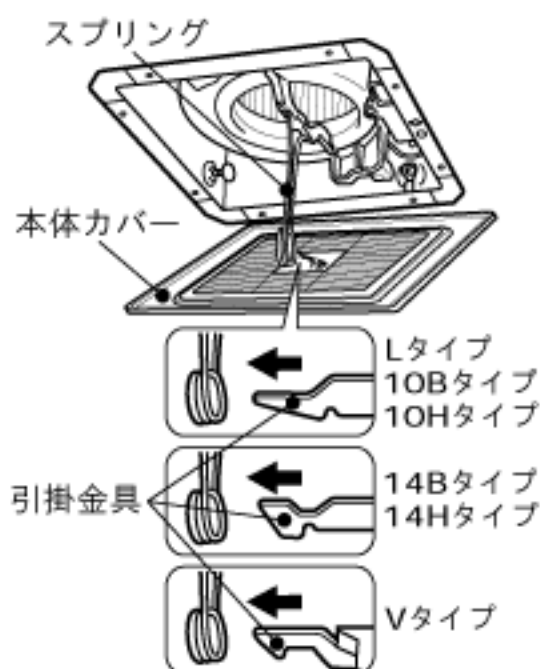


本体カバーの取り付けかた

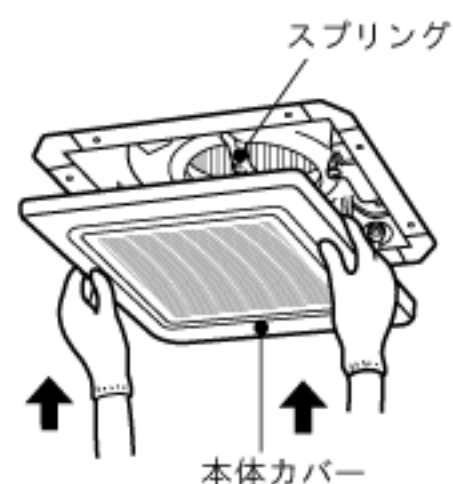
- 1** 本体からスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。



- 2** スプリングに本体カバーの引掛金具を引っ掛けます。



- 3** 本体カバーをそのままゆっくりと押し上げます。



(Bタイプ)
本体カバーの脚が本体の凹部にはまっていることを確認してください。

お知らせ

スプリングがはずれた場合は、スプリングをたわめ、片方ずつフックをスプリング取付部に挿入して取り付けます。



試運転

電源スイッチを「入」にし、つぎのことを確認してください。

- 羽根は回っていますか。
- 異常な振動、騒音はありませんか。

